

「公益財団法人に期待する」

一般社団法人全国測量設計業協会連合会
会長 本島 庸介



日本測量調査技術協会（測技協）がこのたび新たに公益財団法人へ移行されましたことを心からお慶び申し上げます。

昭和 36 年に設立された社団法人全国測量業協会が改組されて、昭和 52 年に社団法人全国測量業協会連合会（全測連）が組織されましたが、3 年後の昭和 55 年に、それまでの写真測量調査技術協会を母体として、財団法人日本測量調査技術協会が設立されました。全測連は各都道府県に組織された団体の連合体として、主に地域の構成員会社の経営力の向上を計るための幅広い活動を行なって今日に至っておりますが、測技協は、国の機関等との連携も含めて、測量調査における先端技術の研究と、その普及・啓蒙を計るための活動を行って今日に至っております。また、近年においては地理情報の標準化への普及活動に努力され、地理空間情報社会への先導役の役割も担われております。

昨年の東日本大震災、その他全国各地の災害においては、行政機関との災害協定に基き、いち早く被災状況の把握とその分析に努め、その成果を国及び地域の行政機関に提供するなど、協会及び会員の技術の力は遺憾なく発揮されており、その成果はその後の復旧、復興事業に欠く事のできない情報として活用され、関係者は勿論、社会にも広く認識されているところであります。今後、何時、何処で起きても不思議ではない自然災害に備える防災対策においても、また、急速に進みつつある地理空間情報社会の形成に資する意味でも、その最も基本となる測量調査技術の重要性は更に高まっており、その応用範囲も更に広がりを増しております。

貴協会におかれては、既に永年にわたり公益事業として相応しい事業に取り組んできておられますが、公益財団法人への移行を契機として更に一層公益性を意識した測量調査技術の研究と啓蒙を進めるとともに、特に若い世代の人材の確保、育成を計り、将来においても測量調査技術が社会の要請に応えることの出来るよう磐石の基盤造りに貢献されるよう期待するところであります。協会のますますのご発展と会員企業のご隆盛を心から祈念いたしております。